

市民協働フェスティバル「まちカフェ！」における 「まちだコドマチ条例」の周知・啓発活動について

2024年度中は「コドマチフェスティバル」と称したキャンペーンを開催し、様々なイベント等により「町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）」のPRを行っています。「コドマチフェスティバル」の一環として、第18回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」※¹に、若者グループである「カワセミサポーターズ」※²とコラボして参加しましたので、ご報告いたします。

※1 まちカフェ

町田市で活動するNPO法人や市民活動団体、地域活動団体などが様々な形で自分たちの活動を紹介するイベント。

※2 カワセミサポーターズ

「まちだコドマチ条例」施行記念イベント「コドマチフェスティバル スタートアップイベント」の企画への参加をきっかけに、これまで市に関わる活動に取り組んできたメンバーを中心として結成されたグループ。



▲カワセミサポーターズブース



▲カワセミサポーターズブース
～カワセミレンジャー寄せ書き～

1 日時 2024年11月30日（土）
10:00～16:00

2 会場 市庁舎1～3階

3 参加者 248人 ※カワセミサポーターズのブース（コドマチクエスト参加者）のみ

4 内容

（1）コドマチクエスト【市庁舎1階、2階、3階の各ブース】

- 参加者がコラボ先のブースをまわりながら各ブースで用意されている、「子どもにやさしいまち」に関連したミッションを達成して、スタンプを収集。
- 集めたスタンプに応じて「カワセミレンジャーグッズ」をプレゼント。



▲ミッション内容ポスター

（2）カワセミレンジャー寄せ書き【市庁舎3階 カワセミサポーターズブース】

- 「コドマチクエスト」のミッションの一つとして実施。
- 「どんなまちにしたい？ねがいをかいてみよう！」をミッションとして、町田市を「どんなまちにしたいか」を付箋に書き、カワセミレンジャーの台紙に貼ったらミッションクリア。
- ミッションクリア者には、カワセミレンジャー缶バッジをプレゼント。



▲完成した寄せ書き

(3) バルーンハウス【市庁舎3階 カワセミサポーターズブース】



- 床には多くの風船が散りばめられ、上からは大きな風船がぶら下がっている、風船であふれた空間。
- ブースに遊びに来てくれた子どもたちが楽しく遊べるように設置。

5 カワセミサポーターズの声



- 子どもたちが笑顔で楽しそうだったのが印象的でした。
「町田市がどんなまちになってほしいか」という問いは、小さい子どもには少し難しかったのか、悩む様子も見られました。しかし、「風船が飛んでいたら楽しい」といったかわいらしい意見から、「自然がいっぱいだといい」というしっかりした意見、大人からは具体的な意見が色々出ていて、私たちも面白く聞かせていただきました。
- バルーンハウスを出したことで、来場者だけでなく他の出展ブースの方や知り合いの市役所職員も見に来てくれ、イベント中一番関心を集められたという実感があります。
準備も今までにないほど打ち合わせを重ね、職員の皆さんと協力して、最高の出展内容にできたと大変満足しています。
- 事前準備も当日も何かと力不足を痛感していましたが、当日は来場した子どもたちにも大人の方にも楽しんでもらえたようで本当に嬉しく思います。
学生である私たちの意見や要望を尊重しながら企画を進めていってもらえたことを本当に有難く思っています。今後も町田市をより盛り上げるお手伝いができるように頑張っていきたいです。



6 イベントによる効果

- 今回のイベントでは、企画者である若者、ミッションのコラボ先の団体、イベント参加者と幅広い対象に、「まちだコードマ^{ルール}チ条例」の周知を行うことができました。
- 若者とコラボすることで、バルーンハウスなど子どもの興味を引ける企画ができたり、市単独の実施では訪れない方もブースに来てくれたりするなど、より多くの方に関心を持ってもらうことができました。

担当：子ども生活部 子ども総務課